

ひろば 大代

5573.22

大代公民館

義務教育を終え

巣立つ皆さんへ

教育委 花田三郎

皆さんは、小学校入学以来九年間の努力と研鑽が実を結びめでたく卒業されました。

只今生涯の大きな感激でありましう。心からお祝いを申し上げます。

先日激励会の席で「大代のために役立つ人」と郷土を思う力強い決意の程を多々伺い、翼まった大代のの里にも、やがて花咲く日の遠くないことを確信致しました。

故郷を離れて自分が進んだ道に進まれる皆さんには今まで以上に環境に順応出来る気力と体力が必要とな

ります。常にご家族を始め郷土大代町の期待を担って如何なる困難にもめげず、一日一日を大切に積重ねて行つて下さい。

心に太陽、口びるに歌をと、どうか明かぬ希望と大志に向つて勇気あふん事を祈り致します。

連合運動会の想い出

小六年 笠岡百合江
六年間での一番の想い出は、連合運動会だ。

長く厳しい練習をし、そして、いっしょにうけんめい走った連合運動会。

百米走だ、四百米リレー。選手として、私は、せいっぱいのことをした。

そして、この連合運動会、私は一つのことを学んだ。練習のとき、歯をくいしばってがんばったこと、

最後まで、やりぬくと云う気持ち、いつまでも忘れず、これから生活に生かして、がんばりたいと思う。

小学校卒業を迎えて

本郷 笠田祐子

あの晩白坊主だった次男が、今春から中学生です。

無事大きくなったなあと言ふ安心感と、段々親から離れて行く淋しさが入りまじり、複雑な気持ちです。

将来の夢など余り語らない現実的な子供の様です。しかし何か考えているでしょう。

中学生になるのを機会に夢と希望を持って、前進してくれなことを望みます。

何をすなにも健康第一です。ので、元気で活躍してもらいたい。子供の能力以上の期待をして夢見ている、馬鹿な親

私もその一人です。

精一はい

頑張ります

中三年 松井聖子

月日の終つのは本当に早い。

希望と不安を感じた入学式。先生方、友だちと楽しく過ごした日、とても忘れぬことはありません。

私達がせれてから十五年。この大代町で育つて来ました。皆さんありがとう。春は、もう足もとに春が来ます。

今、私達は未来に向かってはばたこうとしています。精一はい頑張ります。どうか、これからを優しいご指導をよろしくお願い致します。



中学校卒業

を迎えて

飯谷平 高村富子

卒業生の皆さん、おめで

とうございます。

九年間の長い月日、先生

を始め、お父さん、お母さ

んのご苦労は大変なものだ

ったと思います。

皆さんは、こんどは別れて

それぞれ、自覚、対立して

新しい道に入ります。

大代でせめて九年間の学

校生活、今高校生活を目標

しているわけですが、これ

からも頑張つて欲しいと思

います。

私の卒業式を思い出しま

すと月日の立つたのはほん

とうに早かった。

私達の歩んで来た道も遠

つてやつて来た三人の子を

持つ母親ですが、すでに二

人目が卒業します。

で胸が一つぱいびです。



健康管理

成人病教室に出席

本郷 松井輝子

先日健康教室に出席して

私達にも分り易く内臓の働

き、役目などの話しを聞き、

改めてその関心と知識の低

さを感しました。

私の子供は小さい時、思

いかけない大病に罹り約五

年間の斗病生活、続いてま

人の入院生活、一時はもう

駄目ではないかと、達方に

暮れた事も有りました。

誰にも話すことの出来な

い苦しみと悲しみ。

とかく元気な時はその必

要を感じないで、注意さえ

も怠ります。

赤族が皆で元気に暮せるま

事は何よりも一番幸せな事

郷土を知り

昔を知ろう

「重収岩物語」其の一

大代町新屋、宇右原、旧

井原治信氏宅附近の山陵に

「重収岩」がある。

これは奇岩とも云える大

きな岩が二つ重なり、その

光景が、特に珍しいので土

地の人は古くから「重収岩

」と云い伝えていた。

伝説によれば、昔この地

に極めて力の強い気性の荒

い悪鬼がいて土地の人を

たといめていた。

ところが当地に祭られて

ある鎮守の神が、また若き

頃、たまたま当地をお通り

になつた折、その悪い鬼に

出合われたと。

そしてすいさま鬼をつか

つてお前は神通力を持つ

つていると聞く。出来た

け大きな身体になつて見よ

しと云われた。

すると鬼はみるみる内に

大きな身体に一変した。

ところが神は更に「この道

の中の大岩を重収で見よ」

鬼は「かこまりました」

と云つて大岩を重収した。

次に神は鬼におつてつ

こんどは小人になれよ」と

云われた。すると鬼は極め

て小さな子どもになつてし

まった。

神は即座にこの鬼を封じ

込められ、悪い事をしない

様、言い聞かせて旅立たれ

たとえらう。

参考資料と説明

大代町誌よりわかりや

すく解説しました。

2. 何時頃の時代の話しか

はつきりしないが、平安時代前期頃のものと思われ

（記事、山本清助）